

【廿日市支所の取り組み】道路法面の対策について（道路災害防除事業）

令和7年3月

現状・背景

集中豪雨の増加

- ・近年、豪雨が増加傾向。
- ・特に短時間での集中豪雨が増加傾向。

災害のリスク上昇



土砂災害等が多数発生

- ・広島県でも豪雨災害が多発。
- ・広島県の土砂災害危険箇所は全国最多。

土砂災害への早急な対策が必要

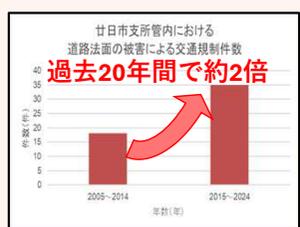
斜面崩壊により全面通行止め



通行止めが増加傾向

- ・道路法面の被災も増加傾向。
- ・道路の寸断は復旧活動等へ様々な影響。

道路法面への早急な対策が必要



主な事業内容

崩れる恐れのある道路法面の対策として地形状況に応じた工事を実施しています。

○法面対策



廿日市市域の主な事業の状況



その他の取り組み

日常的に道路のパトロールや道路法面等の確認も行います。

○道路のパトロール



○道路法面の点検



事業の効果

法面対策等の事業を行うことで、**地域全体の道路（道路ネットワーク）の強化**に繋がり、豪雨による災害時などにおいて、発災直後から復旧・復興に至るまでに、次のようなことなどを後押しできるものと考えています。

発災

人命を守る
迅速な避難行動

人命を救う
迅速な医療提供

復旧・復興活動を支える
迅速な人や物資の往来

復旧・復興へ

○その他の対策

